



長袋の北西部に位置し、釣鐘型に突き出た形の良い山、戸神山。

秋保郷で最も広大な耕地面積を持つ長袋穀倉地帯の水田は、この山懐を水源とする沢によって潤わされています。その象徴となる戸神の神は「水神」の意味合いが濃く、干ばつの時は雨乞いの祈祷が行われたと言う歴史を伝えます。

標高504mの山頂からの眺望は素晴らしく、空気の澄み切った冬季には遠く牡鹿半島まで遠望することができます。

穀倉地帯の信仰の対象であり、その風格が誇りとなっている戸神山に、古くから歩かれた径や、かつてはバスも通った旧道をつないでたどる登山と周遊の旅にでかけてみませんか。



水神・戸神山



いってみっぺ 秋保 水神・戸神山

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市
連絡先：秋保総合支所総務課 (022-399-2111)
秋保市民センター (022-399-2316)

雨乞いの故事伝わる、水神の山
いにしへの径をたどり、
展望の頂へ —

掲載されている情報は、平成29年3月現在のものです。

訪れてみたい秋保
二口街道ツアー 62

No.14



秋保の地に稲作文化が根付いて以来、
人々の想いは豊穡への祈りであり、
その根幹である水の確保が切実な願いであった。
その思いが「田の神」「水神」への祈りとなり、
戸神山は地域の信仰の山として
参詣の径がたどられていった…

1 秋保神社



平安期に発祥の由来を持つ秋保地域の中心の神社。まずお参りして、登山の安全祈願をして出発。神社の少し先から田圃の中の道に入り、戸神山を仰ぎながらまっすぐ進みます。

2 泉口ため池(イノシシの柵)

戸神山麓の雨水を集め、長袋水田地帯を潤すため池のひとつ。池の手前に地元の人が設置したイノシシ防護柵があります。金具を開けて通ったら、原状復帰を忘れずに。



3 新田分岐



かつてはバスも通ったという旧白沢峠からの道と旧町道加沢・新田線の分岐。ここから左に入ります。緩やかな登りとなり、動物の足跡や鳥のさえずりが、多くなってきます。

4 戸神覗きとセイゾウ池



道の右手に、かつて田圃だった平地の木立の切れ間から戸神山が見えてくると、すぐに小さな池に着きます。この付近の田圃に水をひいた溜池が残ったもので、春には池の上の木立に珍しいモリアオガエルの産卵が見られます。池面に映る木々が美しい。

5 古道分岐



平らできれいな沢床の小さな流れを横切ってすぐに左の古道に入り、沢を右手に見ながら進みます。

6 黒森沢の越場



ぐにやりと幹が曲がった杉のところから、黒森沢を横切って進むと、だんだん登りが急になってきます。

7 戸神山山頂



女戸神山との鞍部から急坂(熊落坂)を登った標高504mの頂上からは、二口の山々から秋保の里、晴れば太平洋までの大展望。水神信仰を伝える祠が鎮座しています。

8 白い広場



鞍部から東へ杉林を抜けて尾根の道を下りてゆくと、白くもろい岩が目立ち始め、開けた広場に出ます。ここから白沢峠方面へ。

9 旧白沢峠分岐

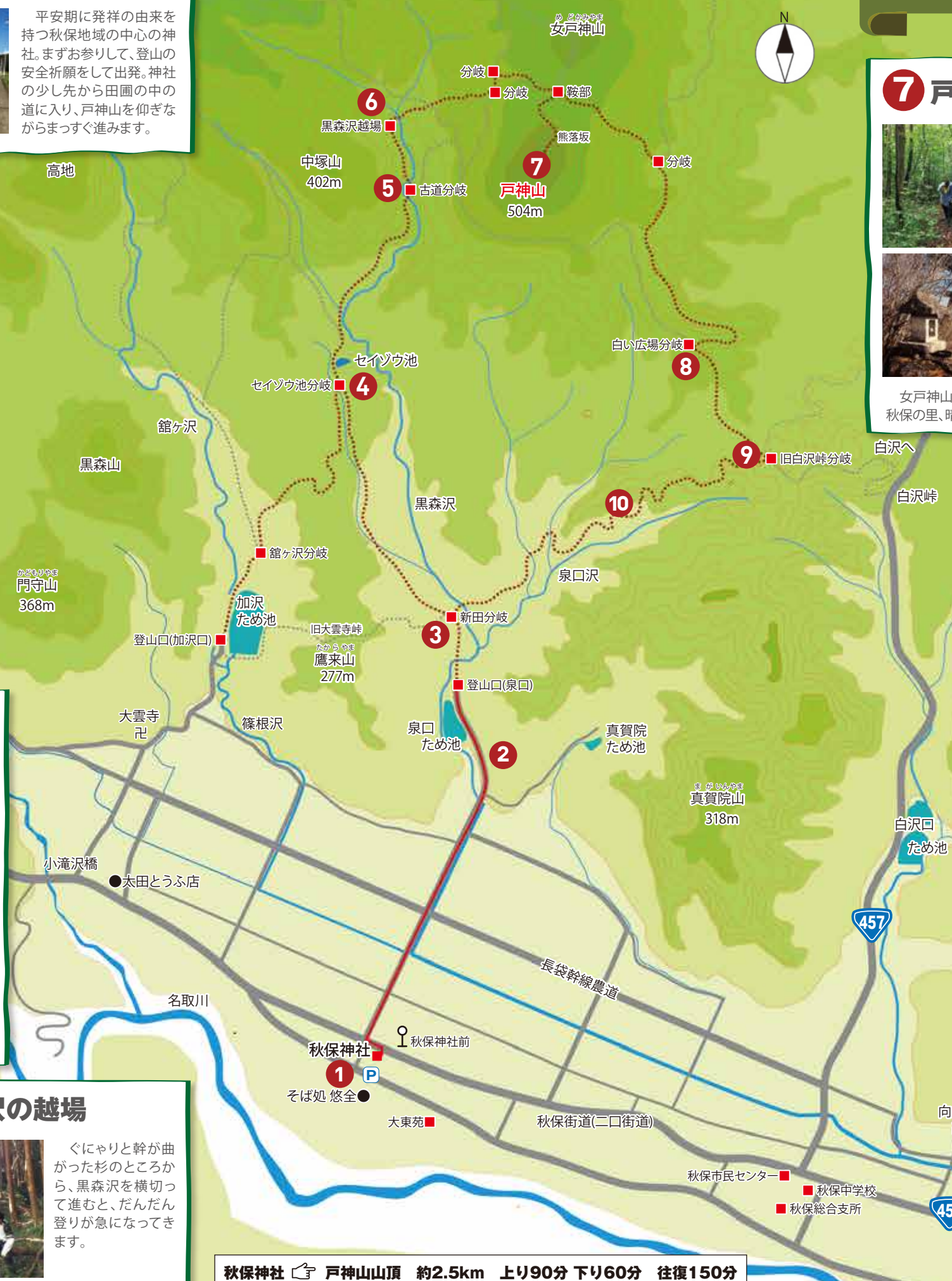


白沢峠方面に進むと、かつてのバス通りとの分岐、旧白沢峠です。鋭角に下る道に入り、泉口ため池方面へ向かいます。

10 旧日本軍軍事倉庫跡



道の右手少し上を注意して進むと、柔らかそうな岩に大きな穴が。つるはしなど手作業で掘った旧日本軍の弾薬庫跡とも伝わっています。中の暗がりにはコウモリの恰好の住処になっています。(土がもろいので、見学は要注意!)



秋保神社 戸神山山頂 約2.5km 上り90分 下り60分 往復150分



※このコースは山歩きコースです。植物など切ったり採ったりせず、ごみは持ち帰り、安全第一でたどりましょう。一人で入る時には、熊よけのため、音の鳴るものを身につけましょう。